

秋スポ...

第 20 号 平成21年6月30日

横須賀市船舶保管施設等

指定管理者 (株)パワー・フォワード・アソシエーション
発行責任者 神奈川県横須賀市日の出町三丁目17番地

代表取締役 守田昌千代
TEL:046/828・5968(代表)

海遊び マナー守れば より楽し!!

やめよう! 飲酒操船

夏本番が近づき、降り注ぐ陽射しを浴びながら「ブシュッ」とあけられた缶ビールを一気にグイッと…。船に揺られながら釣りを楽しむ…。なんてうらやましい。でもちょっと待って下さい、

操船中の飲酒は禁止されているんです。

小型船舶操縦免許の遵守事項の中でも「**酒酔い操縦等の禁止**」とハッキリ記載されております。

プレジャーボートの事故の大半は操船不適切や見張り不充分等の人為的要因によるものです。飲酒はこの要因を作る最大の行為になるのです。

船舶は自動車に比べ操縦と実際の船舶自体の動きにかなりのタイムラグがあります。つまり自動車よりも感覚を研ぎ澄ました素早い操縦が必要になります。自動車免許には飲酒や酒気帯び運転に対して厳しい罰則規定がありますが、小型船舶操縦免許も違反点3点(死傷者を伴う場合は6点)の罰則があります。今後ライフジャケット同様、飲酒操船に対しては特に取締りが強化されます。また、万が一の事故やトラブルの際に発生した費用について、保険が適用されません。さらに周囲への迷惑や何よりも同乗者やご自身の生命を危険にさらすことになるのです。ひと時の快楽のために全てを失うことにもなりかねませんのでお酒は下船後、自動車運転終了後にゆっくりと楽しんでください。

また秋谷沿岸、尾が島周辺、笠島周辺等には隠れ根(水面に出ていない根)がたくさんあるので、出来るだけ浅瀬に近づかないようお願い致します。運悪く浅瀬に入ってしまったときは海面監視を行い微速航行で脱出して下さい。



今が狙い目の魚

7月の休日の潮回り(横浜)

5日(日)9:42干潮(32)17:05満潮(168)中
12日(日)6:59満潮(171)13:36干潮(47)中
19日(日)8:25干潮(30)16:09満潮(167)中
20日(月)9:24干潮(15)16:53満潮(179)中
26日(日)7:19満潮(181)13:44干潮(48)中
水温が沿岸で21~22度、沖では22度以上。
イワシ・サバが多く、海が賑やかです。

今出船しないで、一体いつ?という感じです。

●ムギイカ :小網代沖20~50m

●マダコ :佐島沖7~20m

●アジ :三戸浜沖~城ヶ島100m

●カサゴ :久留和沖20m

●イサキ :佐島沖

海況が比較的安定している今がチャンス!

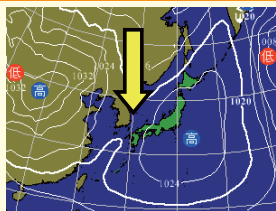
安全航行をいたしましょう!!

- 始業点検(ガソリン・主機・補機・船体・アンカー)
- 常備品(人数分ライフジャケット・信号紅炎・携帯電話・救命浮環・オール・ラジオ)
- 湾内徐行・漁網避難航行・天候注意・水上バイク注意・釣糸注意

今月のギャラリー



鮮やかなキュウセン(雄)



矢印部分が気圧の谷

今月の出艇数

H21年5月16日~H21年6月15日

66 艇

今月の夜間係留数

H21年5月16日~H21年6月15日

18 艇

保管場所空き状況

平成21年6月27日現在

0 艇

海の生物ワンポイント

キュウセン【スズキ目ベラ科】

内湾や浅海の岩礁周辺の転石交じりの砂底に生息。冬季は砂に潜っている場合が多く、イソメや貝などの底生生物を捕食します。カワハギの外道としてよく釣られます。地味なメスに比べ、鮮やかで体の大きいオスは味がよく関西では人気の釣魚です。

トピックス

ご存知の方も多いと思いますが、秋谷港の出入口にアマモが群生しています。干潮時は水面に棚引いているためスクルーに絡まることもしばしば。しかしアマモは魚たちの大切な隠れ場所であり、産卵場所でもあります。また水質等環境条件調査の参考となる指標生物でもあるので、最徐行で保護に努めていただくようお願いします。

指定管理者からのお知らせ

梅雨時期も快適にご利用ください

こんにちは、横須賀市船舶保管施設等指定管理者の株式会社パワー・フォワード・アソシエーションです。夏本番を前にうっとうしい梅雨の時期になりましたが、突然の雨や波をかぶって濡れた身体に北風はきついですね。天気の優れない日は雨具はもちろん予備の衣類をご用意されると便利です。帰港後はシャワールームで温まり、着替えをされればお帰りも快適です。休憩室もありますので釣り談議などに遠慮なくご利用してください。

お問合せは ☎ 0120-560982 (コールアキヤに)

今月のQ & A

Q. 気圧の谷って何ですか。

A. 天気予報で「明日は気圧の谷に入るため天気はゆっくりと下り坂になるでしょう」という解説を耳にしますが、天気図上の2つの高気圧に挟まれた気圧の低い部分を気圧の谷と呼びます。

2つの高気圧は時計回りで回転するため気圧の谷部分で互いの風がぶつかります。温度や湿度の異なる大気がぶつかるため、結果として雲が発生し天気が崩れることになるのです。

天気図に描かれている気圧配置の等圧線の間隔が狭いほど風は強くなるので、このような高気圧に挟まれた気圧の谷ほど天気のくずれる度合いが大きくなります。

今月の事故

転覆等	0	件
主エンジン停止	0	件
ガス欠	0	件